

収蔵品展 「生き物の世界」 出品リスト

会期：令和8年3月25日（水）～7月19日（日）

会場：小田原市郷土文化館分館 松永記念館 別館

私たちの営みは、いつの時代も自然や動物とともにあります。生き物は、生命力の発露であったり、季節の移ろいを感じさせてくれたり、ペットとして生活を共にする相棒であったりと、様々な場面でその姿を見ることができます。

本展では収蔵作品の中から、様々な生き物が登場する絵画や彫刻をセレクトしました。谷文晁^{ぶんちやう}や石井佐一は小動物に人間の姿を重ねて見たでしょうし、岡本秋暉^{しゅうき}は鳥をつぶさに観察して得意の花鳥画を仕上げました。また、佐藤大寛^{たいかん}・佐藤北久山^{ほくざん}父子は、おおらかな画風で、生き物を心温まる存在として取り上げています。また、藤田嗣治^{つぐはる}にとっての猫や、井上三綱^{さんこう}にとっての牛は、画題として欠かせないものでした。彫刻では、牧雅雄^{まきお}と横田七郎^{しゅうも}それぞれの軍鶏^{しんけい}やウサギを比較してみることもできます。

常に作家たちの身近にあった動物の姿をどうぞお楽しみください。

【1階展示室】

	作者	タイトル	制作年	形態	材質・技法	作品サイズ (cm)
1	谷文晁(1763-1840)	人物図	不詳	軸装	絹本著色	100×37.4
2	不詳	鶏図	不詳	軸装	絹本著色	115.8×41.7
3	岡本秋暉(1807-1862)	不詳	不詳	軸装	紙本墨画淡彩	129.5×30.0
4	沼田荷舟(1838-1901)	花鳥図	1888年か	軸装	紙本墨画淡彩	134.8×47.8
5	佐藤北久山(1941-2023)	赤い鳥小鳥	不詳	額	紙・木版	23×18
6	佐藤北久山	象さん	2010	額	紙・木版	17×23.5
7	佐藤北久山	みみずく	2007	額	紙・木版	12.5×9
8	清水比庵(1883-1975)	雀	不詳	軸装	紙本著色	31×39.7
9	佐藤大寛(1898-1983)	閑眠	不詳	軸装	紙本著色	32.8×23.5
10	佐藤大寛	蝸牛	不詳	軸装	紙本著色	24.0×27.0
11	藤田嗣治(1886-1968)	猫	1947	軸装	紙本淡彩	29.5×41.3

【2階展示室】

	作者	タイトル	制作年	形態	材質・技法	作品サイズ (cm)
12	廣本了(1899-1980)	林檎咲く小諸郊外にて	不詳	額	カンバス・油彩	32×44
13	井上三綱(1899-1981)	牛群像	不詳	額	紙・混合技法	22.7×42.1
14	井上三綱	少女と牛	不詳	額	紙・混合技法	43.6×48.1
15	井上三綱	馬に乗る人	不詳	額	紙・混合技法	67.9×48.6
16	石井佐一(1923-2010)	城址・小田原	不詳	額	カンバス・油彩	141.7×173.0
19	牧雅雄(1888-1935)	軍鶏	1925		木彫	高 63.0×幅 34.5 ×奥行 17.5
20	横田七郎(1906-2000)	軍鶏	不詳		木彫	高 48.5×幅 47.3 ×奥行 25.1
17	牧雅雄	眠兎 (法事の参列者に配布された記念品)	不詳		石膏	高 10.5×幅 17.2 ×奥行 8.5
18	横田七郎	うさぎ	1998		木彫	高 12.7×幅 28.5 ×奥行 26.8
21	横田七郎	からすの子	1962		木彫	高 11.8×幅 24.8 ×奥行 19.3
22	横田七郎	平成の三猿	1998		FRP	高 27.9×幅 21.6 ×奥行 24.1

【2階通路】

	作者	タイトル	制作年	形態	材質・技法	作品サイズ (cm)
23	石井佐一	時代を創る	不詳	額	カンバス・油彩	137.5×168.5

※所蔵先について、No.19 は当館寄託、それ以外は小田原市郷土文化館蔵です。

※会期中、作品保護のため予告なく作品を入れ替える場合があります。